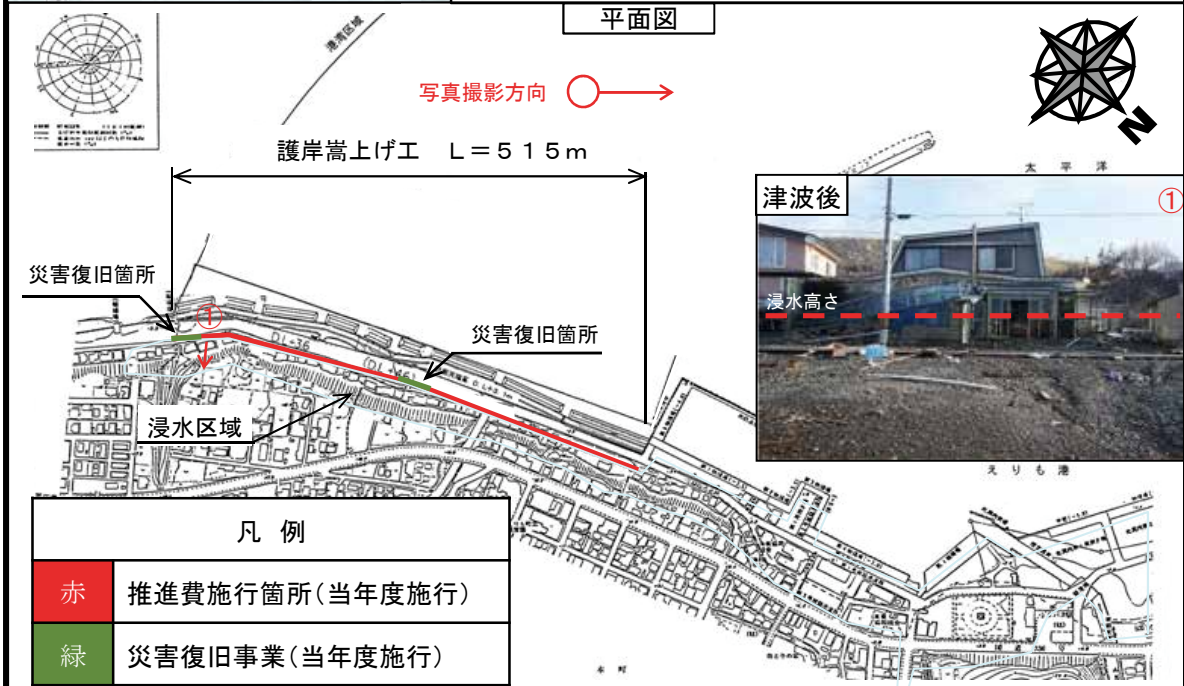
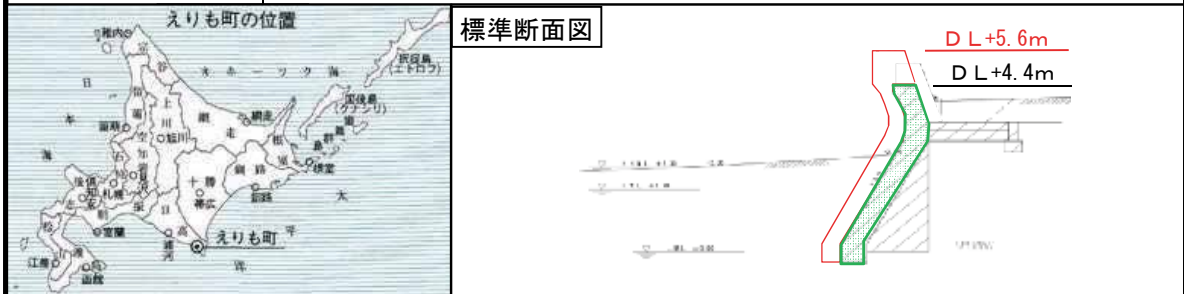


【40】 災害対策 (国交省港湾局 補助 津波 分類①)

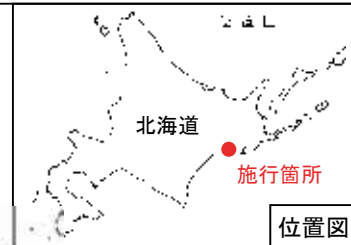
事業名	海岸保全施設整備事業(えりも港本港地区) <small>コウ ホンコウ</small>		
事業主体	えりも町		
施行地	北海道幌泉郡えりも町字新浜 <small>ホロイズミグン チョウアザ シンハマ</small>		
事業費	300(百万円)	国費	165(百万円)
内容	<p>平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)の津波により、海岸護岸が破壊され、家屋半壊1棟、床下7棟、床上7棟の家屋被害と49棟の倉庫等に浸水被害が発生した。</p> <p>このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に護岸の嵩上げを行うことで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。</p>		



【41】 災害対策(国交省都市局 補助 津波 分類①)

事業名	都市防災推進事業(釧路 ^{クシロ} フィッシャーマンズワーフ地区)		
事業主体	釧路市		
施行地	北海道 ^{クシロ シニシキチョウ} 釧路市錦町2丁目4番地		
事業費	317.5(百万円)	国費	158.8(百万円)
内容	<p>平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の津波により、津波緊急一時避難施設に指定されている公共施設『釧路フィッシャーマンズワーフMOO』の1階及び地階が浸水して電気設備等の機能不全となり、トイレや水道、暖房等避難所としての機能が喪失したため、避難者は別の避難所への移動を余儀なくされた。</p> <p>このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に防潮板の設置、発電設備等の5階への移設を行うことで、再度災害防止を図り、利用者及び避難者の安全・安心を確保する。</p>		

凡 例	
赤	推進費施行箇所(当年度施行)
緑	災害復旧事業(当年度施行)



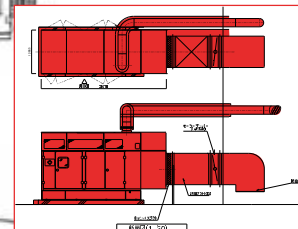
5階平面図



【電気設備工】発電機設備(375KVA 1台)、受変電設備(キュービクル20面、変圧器6台)、直流電源設備(屋内キュービクル1式)、幹線設備(ケーブル600m)、冷房・換気設備(1式)

【建築主体工】仮設工事、とりこわし工事、内外装工事

発電機 標準図



1階平面図

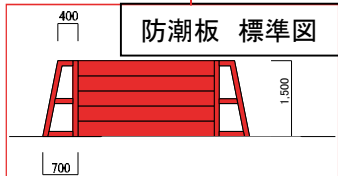
(災害復旧)
・電気設備
・コンセント設備



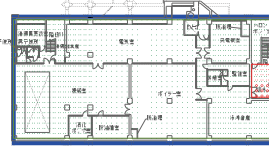
【建築主体工】内外装工事(防潮板18基)

浸水エリア

(災害復旧)
・ボイラー更新
・冷温水機更新
・監視盤等更新 等



地階平面図



【建築主体工】とりこわし工事、内外装工事

地下電気室の被害状況



地下ボイラー室の被害状況

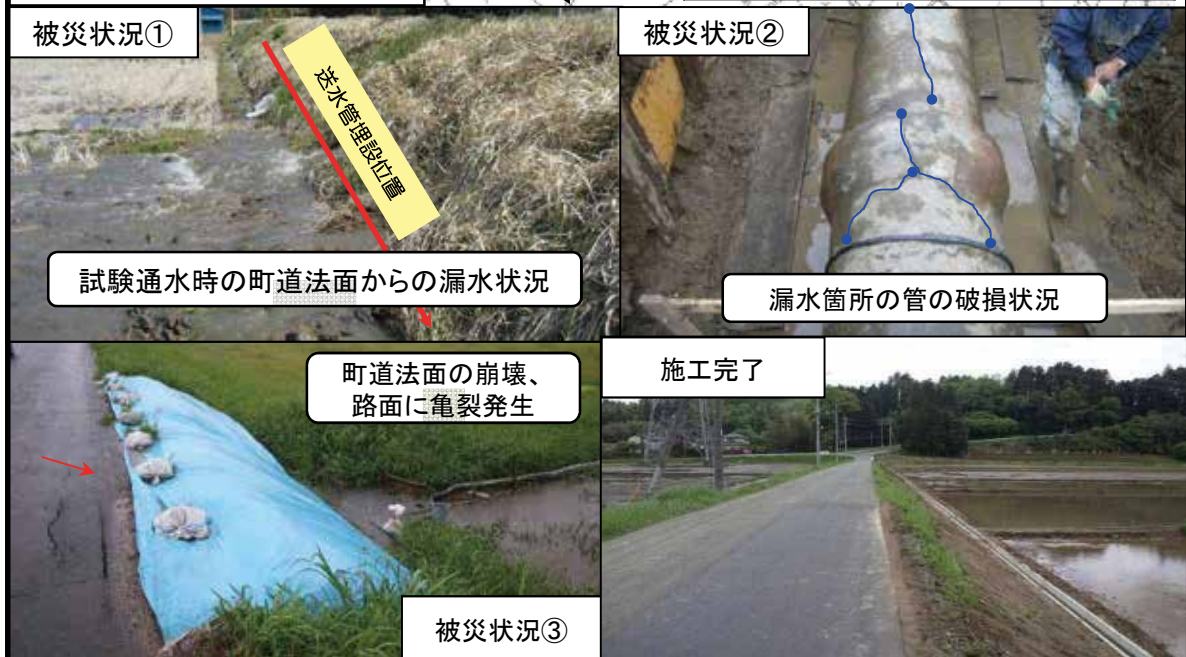
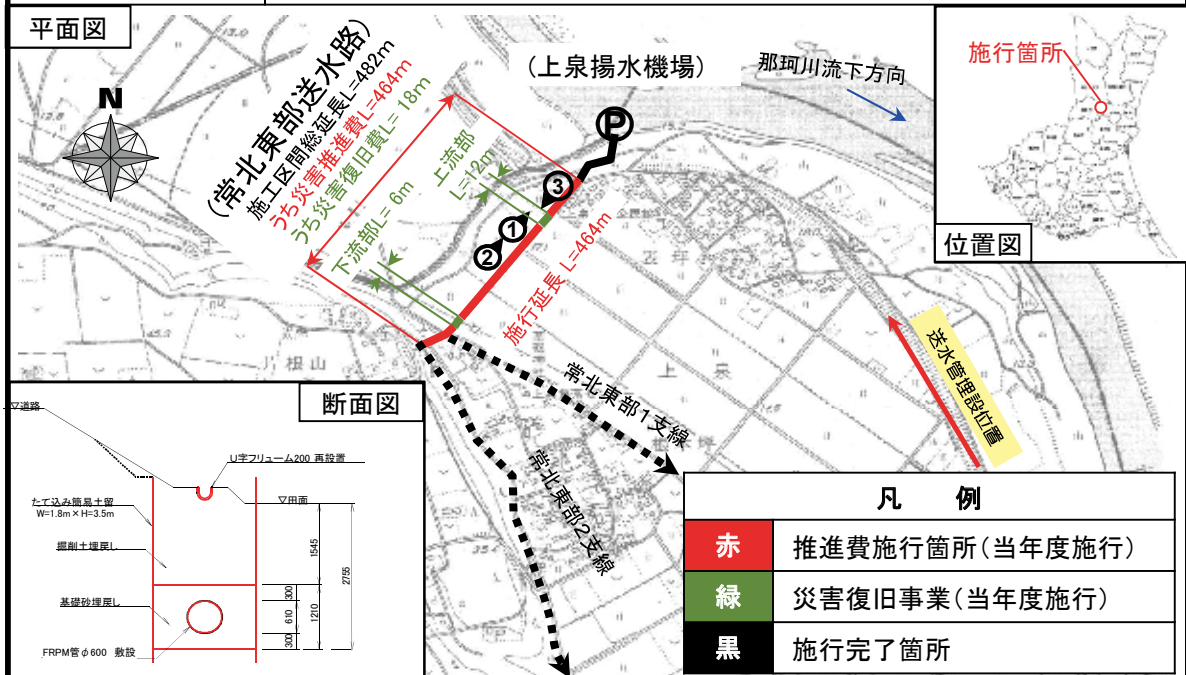


防潮板設置状況



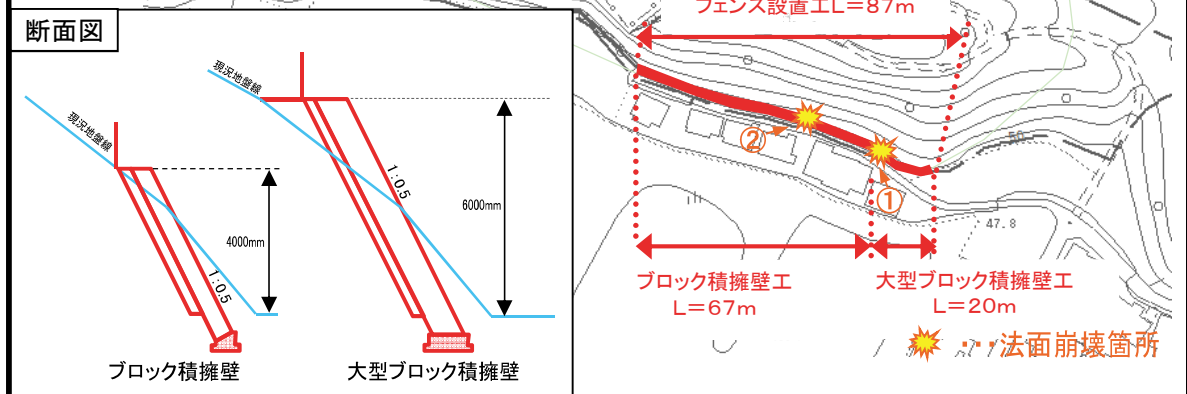
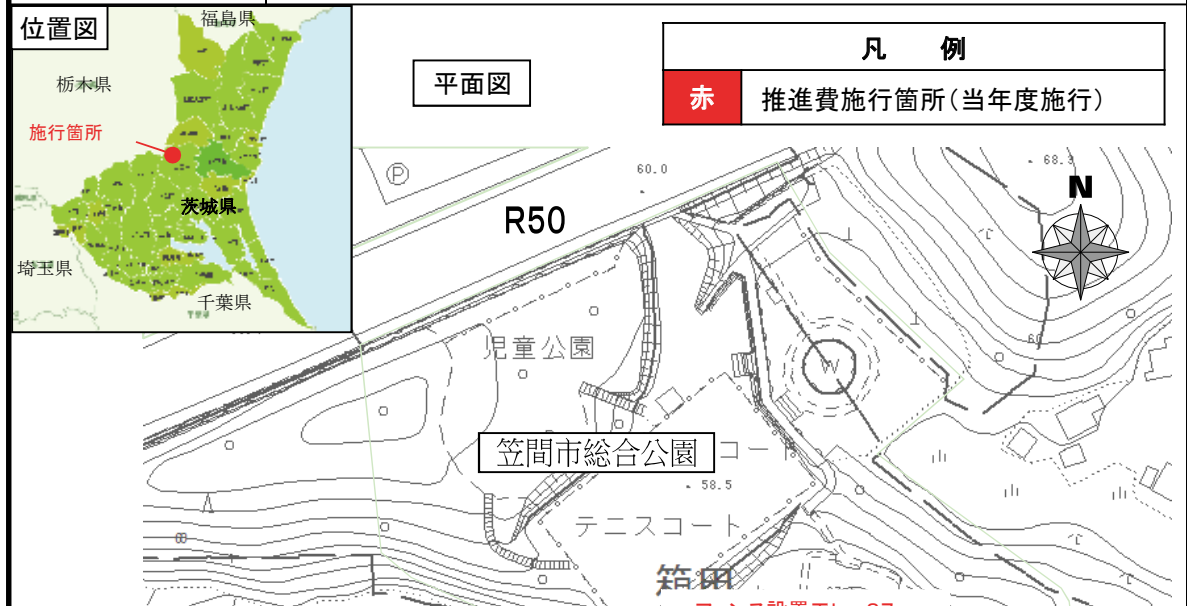
【42】 災害対策(農水省農村振興局 補助 地震 分類①)

事業名	農業農村整備事業(那珂川沿岸地区) <small>ナカガワエンガン</small>		
事業主体	茨城県		
施行地	茨城県東茨城郡城里町上泉1341番地先 <small>ヒガシイバラキ グン シロ サト マチ カミズミ</small>		
事業費	25(百万円)	国費	12.5(百万円)
内容	<p>平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)により、常北東部送水路(農業用送水管)のうち2箇所が損傷し、漏水に伴う町道の法面浸食、路面の亀裂及び農業用水の断水が発生した。</p> <p>このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に被災箇所の前後区間を補強することで再度災害防止を図り、地元農家及び地域住民等の安全・安心を確保する。</p>		



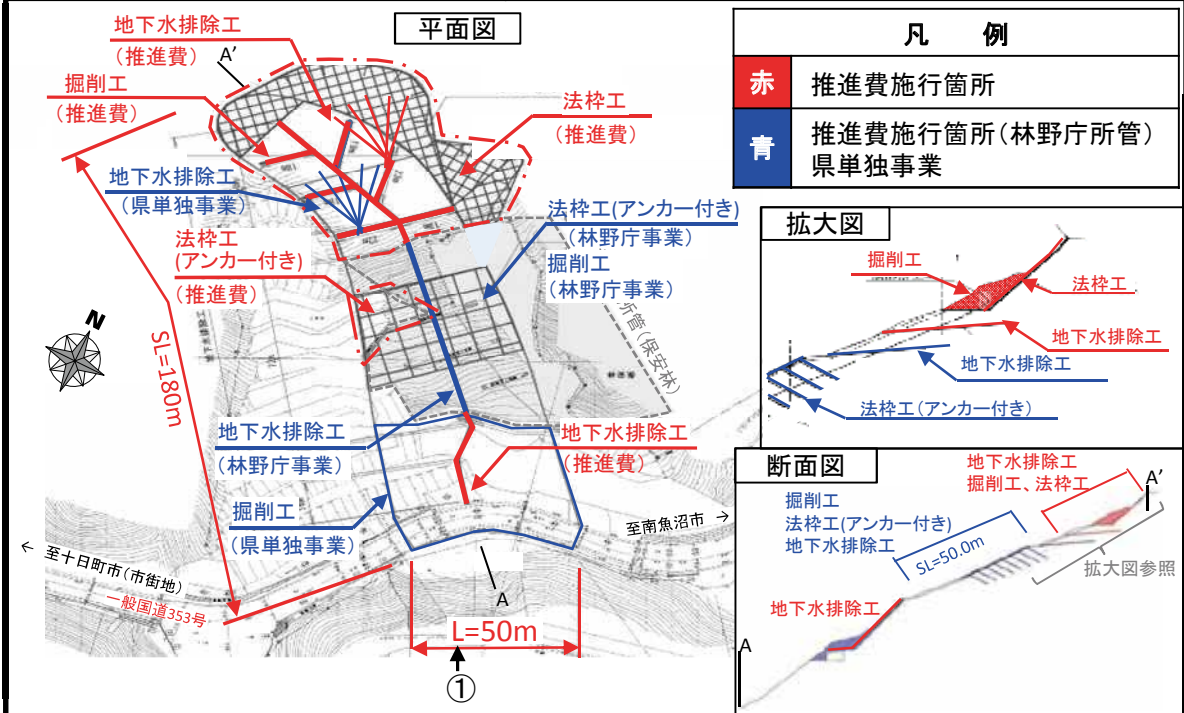
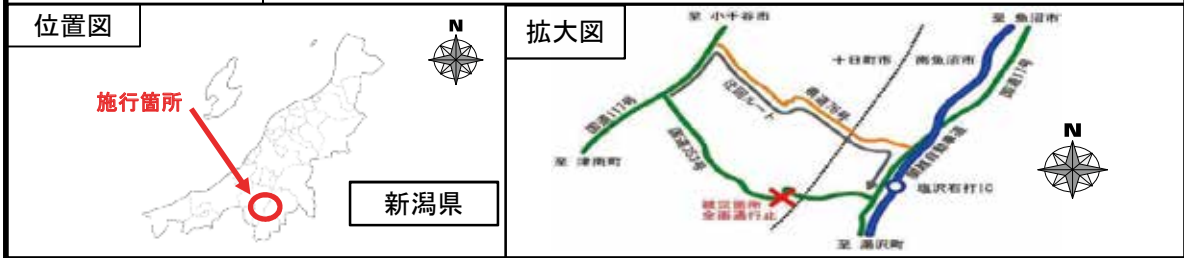
【43】 災害対策(国交省都市局 補助 地震 分類②)

事業名	都市公園災害対策事業(笠間市総合公園) <small>カサマシ</small>		
事業主体	笠間市		
施行地	茨城県笠間市箱田867-17 <small>カサマシ ハコダ</small>		
事業費	30(百万円)	国費	15(百万円)
内容	<p>平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)により、公園法面が崩壊し、法面下の道路の車両通行止めを行った。公共土木施設には被害がなかったが、公園法面には多数の亀裂が発生しており、更なる被害の拡大を防ぐ必要がある。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、地域住民や公園利用者の安全・安心を確保する。</p>		



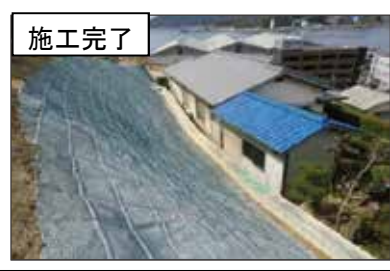
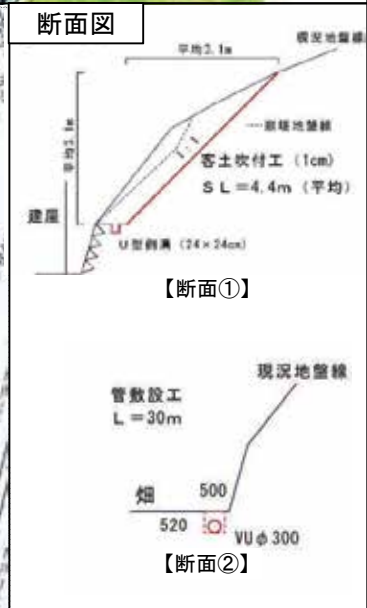
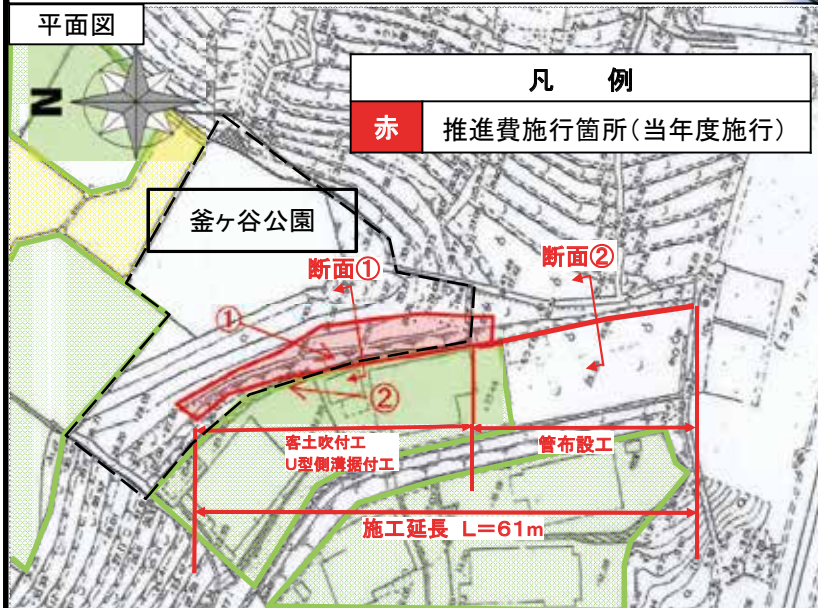
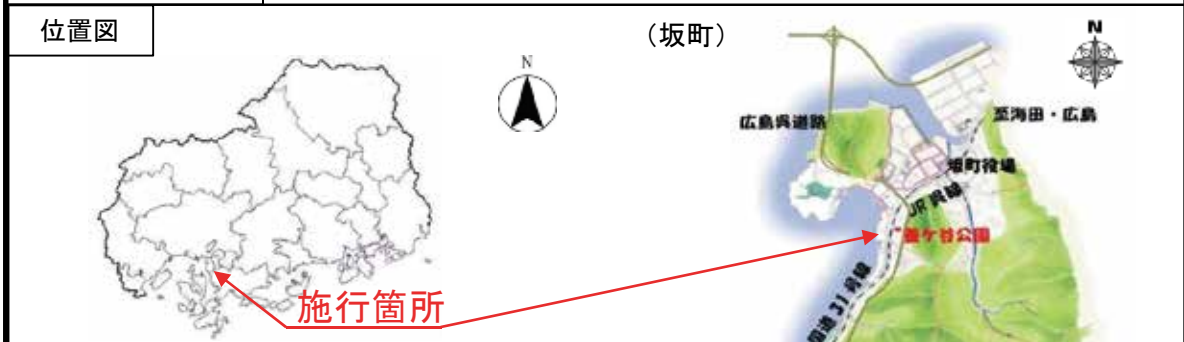
【44】 災害対策 (国交省道路局 補助 山崩れ 分類③)

事業名	トオカマチシ ムグラサワ 道路更新防災等対策事業(一般国道353号十日町市葎沢地内)		
事業主体	新潟県 ※林野庁所管治山事業(補助)(実施主体:新潟県【事業費130(国費65)百万円])同時配分		
施行地	トオカマチシ ムグラサワ 新潟県十日町市葎沢地内		
事業費	230(百万円)	国費	115(百万円)
内容	<p>平成26年4月5日に山崩れが発生し、国道353号は崩落土砂により全面通行止めを行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。</p> <p>なお、林野庁所管の治山事業に同時配分し、県単独による応急復旧とあわせ、新潟県が一体的に法面对策を実施した。</p>		



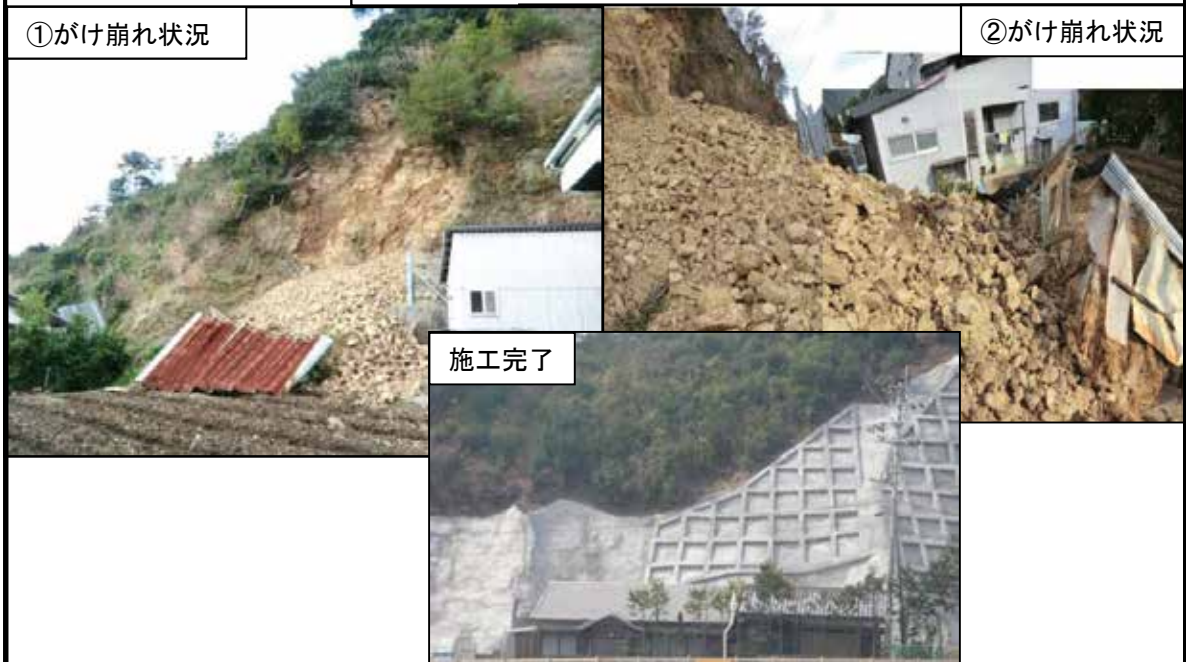
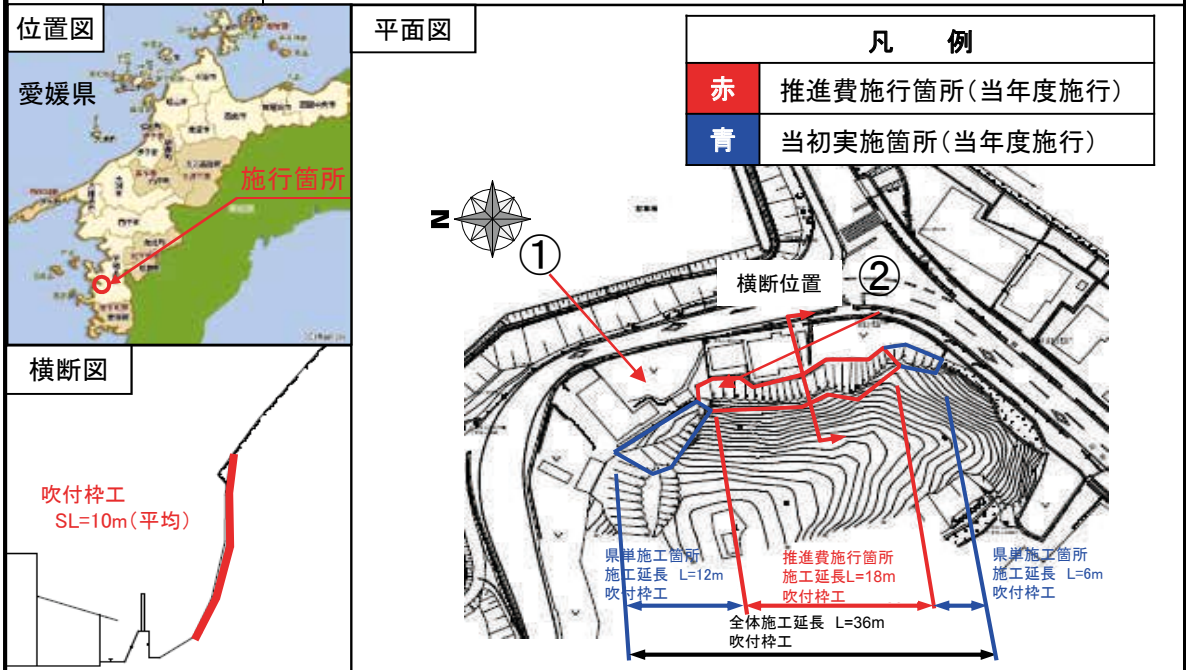
【45】 災害対策 (国交省都市局 補助 崖崩れ 分類②)

事業名	都市公園災害対策事業(釜ヶ谷公園) <small>カマガタニ コウエン</small>		
事業主体	坂町		
施行地	広島県安芸郡坂町横浜東二丁目 <small>アキ グン サカチヨウ ヨコハマヒガン</small>		
事業費	5.6(百万円)	国費	2.8(百万円)
内容	<p>平成28年6月23日に崖崩れが発生し、釜ヶ谷公園で民家に隣接した倉庫が損傷した。公共土木施設に被害はなかったが、隣接する居住家屋への今後の降雨による被害の拡大を防ぐ必要がある。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に法面対策を行うことで再度災害防止を図り、公園利用者及び地域住民の安全・安心を確保する。</p>		



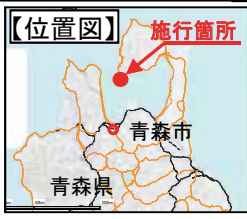
【46】 災害対策 (国交省都市局 補助 崖崩れ 分類②)

事業名	都市公園災害対策事業(第1号南予レクリエーション都市公園) <small>ナンヨ</small>		
事業主体	愛媛県		
施行地	愛媛県宇和島市津島町近家乙 <small>ウワジマシ ツシママチ チカイエオツ</small>		
事業費	6(百万円)	国費	3(百万円)
内容	<p>平成26年3月13日に崖崩れが発生し、倉庫1棟倒壊及び民家脇の畑に被害が発生した。公共土木施設に被害はなかったが、崖崩れ周辺斜面において多くの亀裂が確認されたことから、今後の降雨による被害の拡大を防ぐ必要がある。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。</p>		



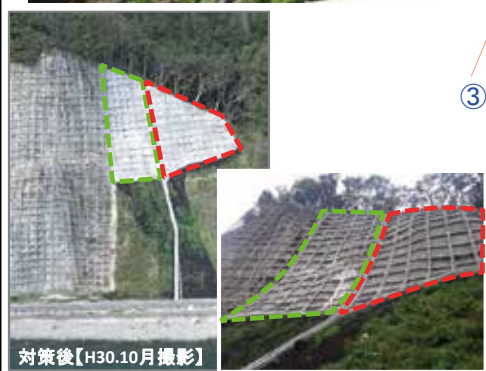
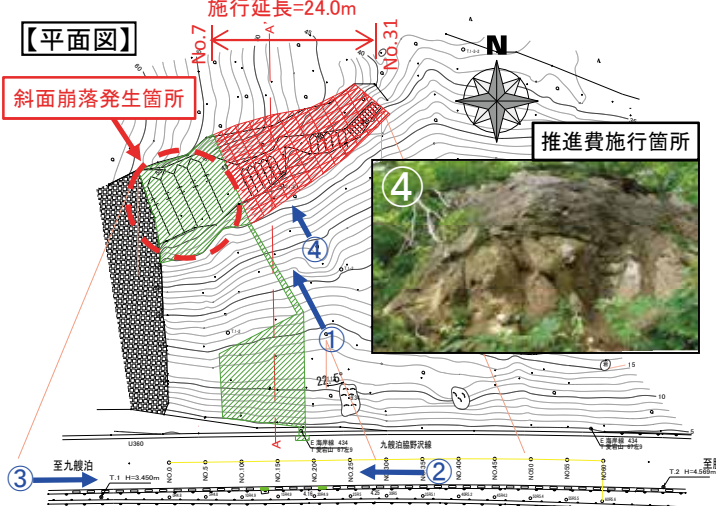
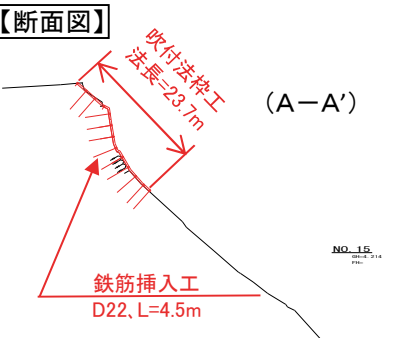
【47】 災害対策 (国交省道路局 補助 崖崩れ 分類①)

事業名	クソウドマリ ワキノサワ 道路更新防災等対策事業(一般県道 九艘泊脇野沢線)		
事業主体	青森県		
施行地	ワキノサワ キナミ 青森県むつ市脇野沢寄浪地内		
事業費	34 (百万円)	国費	17 (百万円)
内容	平成29年7月22日に梅雨前線の豪雨(92mm/24h、45mm/1h)で道路路面の一部が崩落し、一般県道九艘泊脇野沢線では2日間の全面通行止めを行った。 このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に吹付法枠工等の法面对策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		



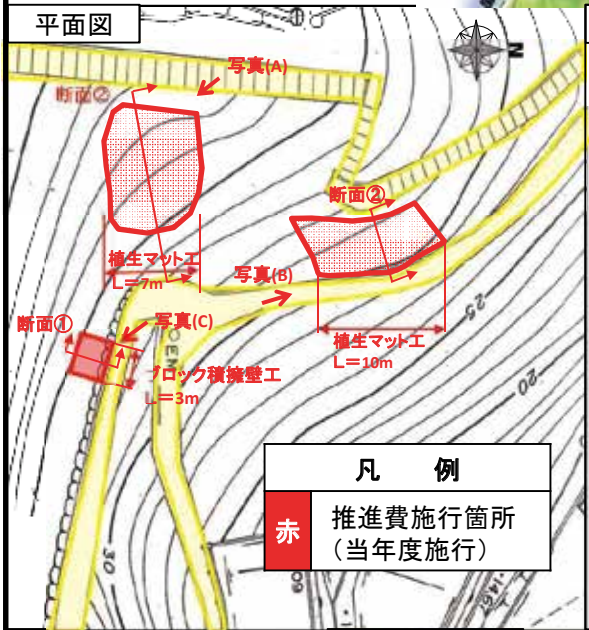
凡例

赤	推進費施行箇所(当年度施行)
緑	災害復旧事業



【48】 災害対策 (国交省都市局 補助 崖崩れ 分類②)

事業名	都市公園災害対策事業(横浜公園) <small>ヨコハマコウエン</small>		
事業主体	坂町		
施行地	広島県安芸郡坂町鯛尾二丁目 <small>アキグン サカチヨウ タイビ</small>		
事業費	2.6(百万円)	国費	1.3(百万円)
内容	平成28年6月21日、23日に崖崩れが発生し、公共土木施設に被害はなかったが、津波災害時避難場所に指定されている横浜公園の園路で一部の全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面対策を行うことで再度災害の防止を図り、公園利用者及び地域住民の安全・安心を確保する。		



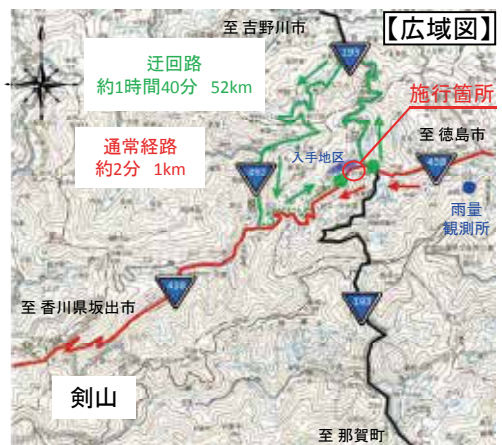
【49】 災害対策 (国交省道路局 補助 崖崩れ 分類③)

事業名	道路更新防災等対策事業(一般国道438号)		
事業主体	徳島県		
施行地	徳島県名西郡神山町上分字入手 <small>ミウザイ グン カミ ヤマチョウ カミ ブン アザリ テ</small>		
事業費	140 (百万円)	国費	70 (百万円)
内容	平成30年5月9日と5月27日に相次いで崖崩れが発生し、一般国道438号で72日間の全面通行止め、その上部に位置する町道入手柿道線で全面通行止めを行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。このため、推進費を活用して緊急的にアンカー工等の法面对策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

【位置図】

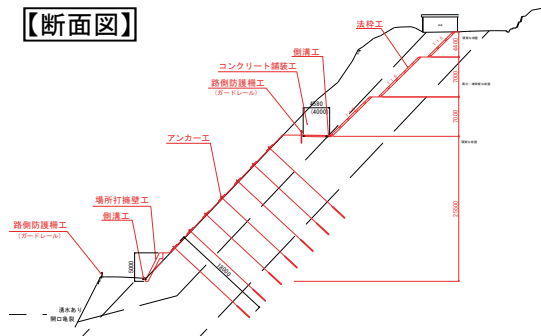


【広域図】

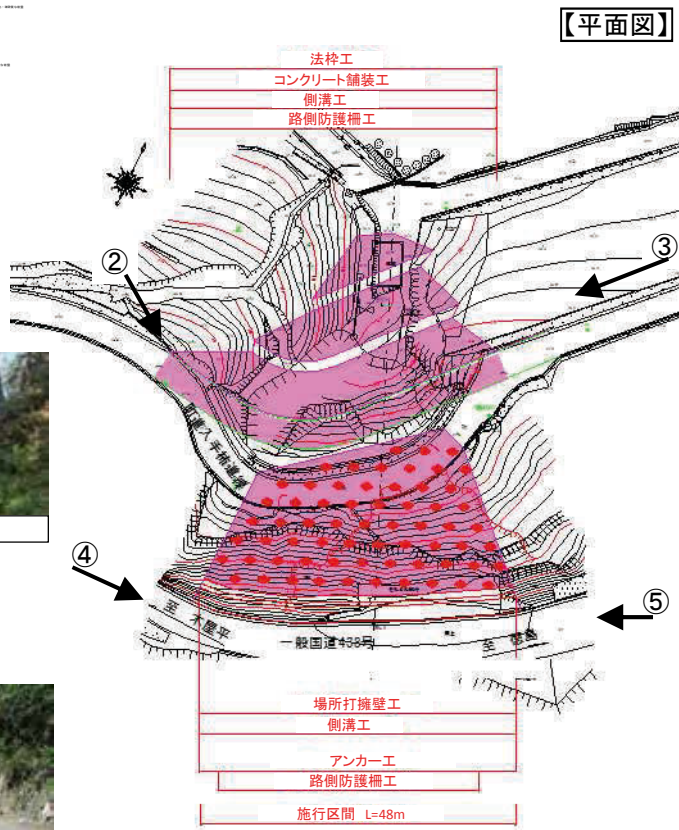


凡例
赤 推進費施行箇所(当年度施行)

【断面図】



【平面図】



【50】 災害対策 (国交省道路局 補助 崖崩れ 分類③)

事業名	道路更新防災等対策事業(主要地方道笠置山添線) <small>カサギ ヤマゾエ</small>		
事業主体	京都府		
施行地	京都府相楽郡笠置町大字笠置地先 <small>ソウラクグン カサギチヨウ カサギ</small>		
事業費	182 (百万円)	国費	91 (百万円)
内容	平成29年4月18日に崖崩れが発生し、主要地方道笠置山添線で44日間の全面通行止めを行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。 このため、推進費を活用して緊急的に落石防護工等の落石対策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

【位置図】

笠置町中心市街地
通常経路 L=3.0km (約6分)
通行止時の迂回路 L=14.6km (約30分)
出典: 国土地理院地図

【断面図】 (A-A')

高さ 25m
幅 20m
落石防護工
☒: 落石防護工

【平面図】

対策範囲 L=120m
情報板・遮断機
落石防護工
推進費施行範囲
尾根筋
凡例:
赤線: 推進費施行箇所(当年度施行箇所)
☒: 落石防護工
●: 除去工(土砂等を含む)
■: ロープ掛・伏工
▲: 岩接着工

被災状況

情報板、遮断機破損
落石: 3.5m × 3.0m × 2.5m

法面状況①

写②
φ0.8m程度の不安定な転石が多数分布
↓
落石防護工により対策

法面状況②

写③
オーバーハングしている部分は土砂・雑木等を除去工(●)により撤去
崩壊跡 幅10m × 深さ3m
落石経路

▲: 岩接着工

写④

■: ロープ掛工

写⑤

●: 除去工

写⑥
安全に撤去できる石は除去
↓
＜除去できないもの＞
・斜面上にある岩塊
・除去すると土砂くずれを伴うもの

■: ロープ伏工

写⑦
落石が滑動や転落しないようにワイヤロープを格子状に組み、主ロープの交点部及びロープの端部にアンカーを設け、斜面上に固定する。

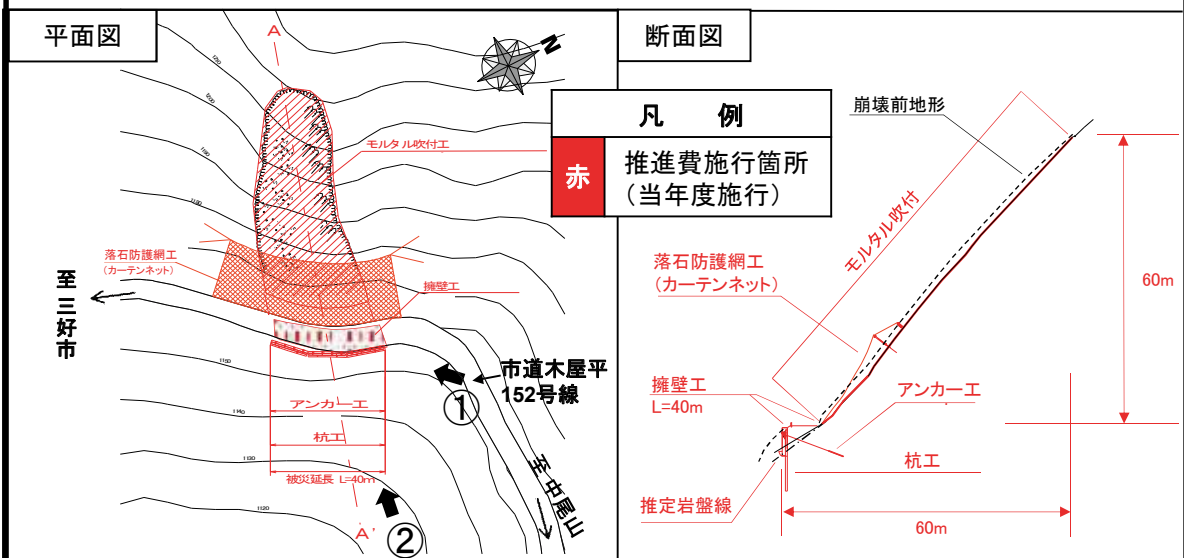
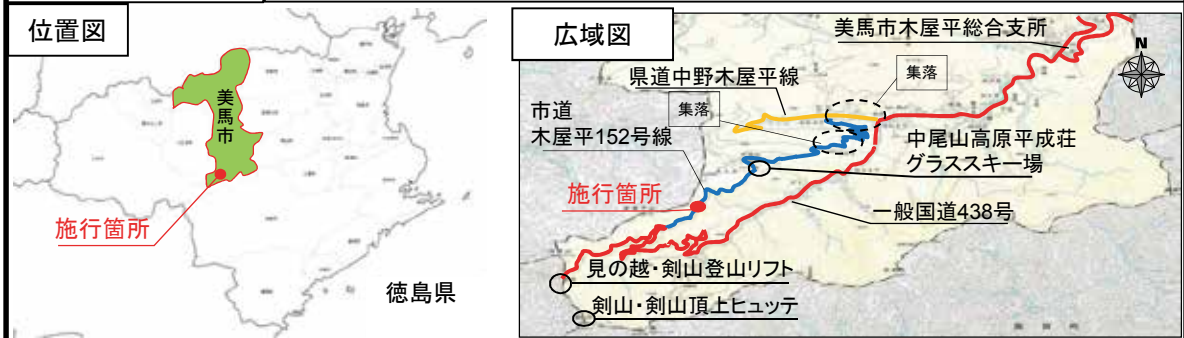
対策後【H30.9撮影】

対策後【H30.7撮影】

対策後【H30.8撮影】


【51】 災害対策 (国交省道路局 補助 崖崩れ 分類③)

事業名	道路更新防災等対策事業(市道木屋平152号線) <small>コヤダイラ</small>		
事業主体	美馬市		
施行地	徳島県美馬市木屋平字川上地先 <small>ミマ シ コヤダイラ カワカミ</small>		
事業費	122(百万円)	国費	61(百万円)
内容	平成28年3月10日に崖崩れが発生し、市道木屋平152号線で全面通行止めを行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		



【52】 災害対策 (国交省道路局 補助 崖崩れ 分類③)

事業名	道路更新防災等対策事業(一般県道 <small>スギサワ カミ コ ア ニ セン</small> 杉沢上小阿仁線)		
事業主体	秋田県		
施行地	<small>キタアキタ グン カミ コ ア ニ ハギナリ</small> 秋田県北秋田郡上小阿仁村萩形地内		
事業費	100 (百万円)	国 費	50 (百万円)
内 容	<p>平成27年3月2日に崖崩れが発生し、一般県道杉沢上小阿仁線で13日間の全面通行止を行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。</p>		



施行地

位置図
【秋田県】

[平面図]



至国道285号

凡 例

赤 推進費施行箇所 (当年度施行)

至八木沢集落 (萩形ダム)

小阿仁川

施行延長 L=37.2m
土工、吹付法枠

拡大図



沖田面観測所

施行地

八木沢集落

萩形分山

林道区間 (法面崩落等により全面通行止)

【A-A断面】



吹付法枠 (雪崩予防付)

【①崖崩れ被災状況 (H27. 3. 2)】



至 国道285号

【②崖崩れ被災状況】 (H27. 3. 2)】



至 八木沢集落 (萩形ダム)

施行完了

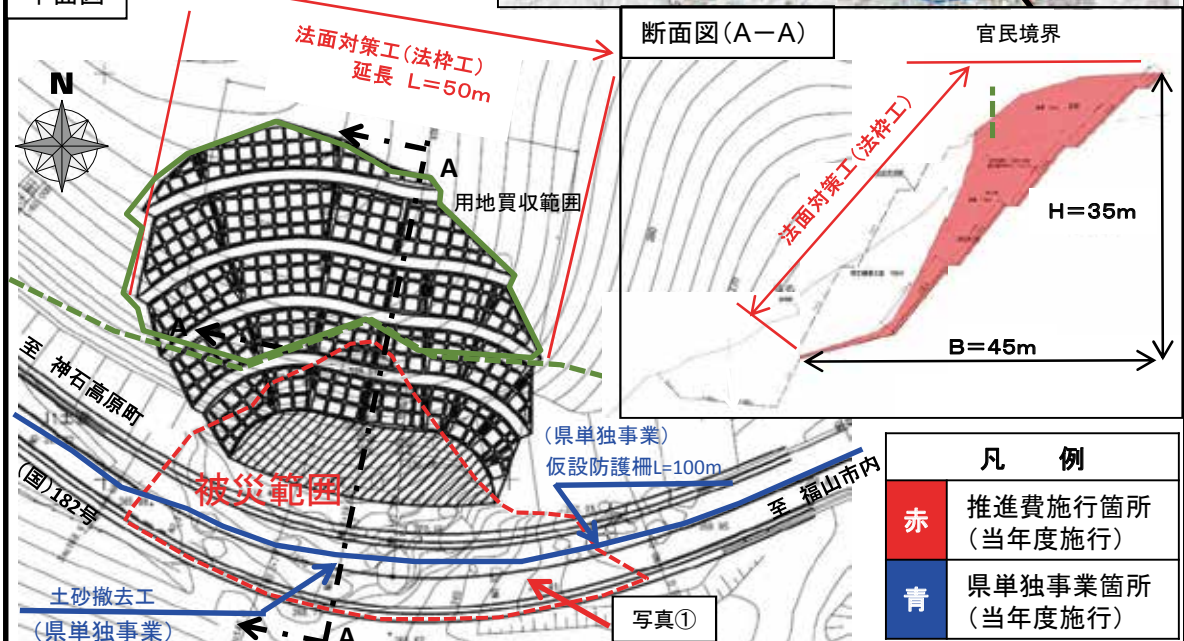
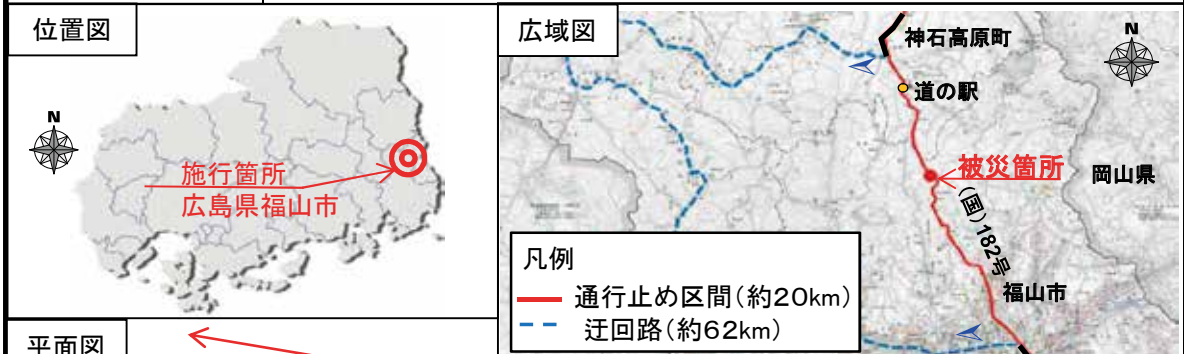


施行完了



【53】 災害対策 (国交省道路局 補助 崖崩れ 分類③)

事業名	道路更新防災等対策事業(一般国道182号 百谷地内) <small>モモダニ</small>		
事業主体	広島県		
施行地	広島県福山市加茂町百谷地内 <small>フクヤマシ カモチョウ モモダニ</small>		
事業費	164(百万円)	国費	82(百万円)
内容	平成27年7月23日に崖崩れが発生し、一般国道182号で全面通行止を行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		



【54】 災害対策(林野庁 補助 崖崩れ 分類③)

事業名	治山事業(みさご山地区)		
事業主体	徳島県		
施行地	ナカグンナカチョウキトウ 徳島県那賀郡那賀町木頭字みさご山		
事業費	71(百万円)	国費	35.5(百万円)
内容	平成30年3月11日に一級町道出羽線で崖崩れが発生し、66日間の全面通行止めを行ったが、災害復旧事業における災害の採択範囲の対象外である。 このため、推進費を活用して緊急的に法枠工等の治山対策を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

【位置図】



【広域図】



【平面図】

